



さいとうまさひろ 議員
市議会 齋藤昌秀

新型コロナウイルス感染症への対応について

問 新型コロナウイルスワクチンの接種状況について、現在の程度まで接種が進んでいるのか伺います。

答 保健福祉部長 6月9日時点での接種状況についてお答えします。集団接種と個別接種あわせて、8826回接種が完了しています。65歳以上の高齢者は、1万8700人ほどです。約4割の方が1回目の接種を終了した状況です。

問 ワクチン接種について、山武市では近隣市町より進捗が早いという情報もありますが、接種に向けた具体的な取組について伺います。

答 保健福祉部長 本市においては、1月20日に新型コロナウイルスワクチン接種推進室を設置し、5月15日からは、集団接種をいち早くスタート

させ、個別接種と並行して、接種を進めています。

集団接種の会場は、成東保健福祉センターだけでなく、さんむ医療センターでも、毎週月曜日から土曜日に接種を実施し、2か所で並行して実施しているところです。

なお、65歳以上の1回目の接種割合は、千葉県下では2割台ですが、本市においては、既に4割を超える状況です。

また、キャンセル発生時の対応として、学校の先生や子ども園の保育士など、集団接種、個別接種に限らず、すぐに接種会場へ来られる方のリストを作成するほか、市独自に『ワクチンもったいないバンク』を設立し、登録者を募集することにより、ワクチンを無駄にしないよう、取組を進めているところです。

防災について

問 市が想定している避難所とそれぞれの避難所の予定収容人数について伺います。

答 総務部長 まず、体育館を収容場所とした場合の収容人数ですが、成東地区は11か所で2700人、山武地区は8か所で3100人、松尾地区は8か所で2300人、蓮沼地区は4か所で1100人となり、4地区を合わせますと、31か所で、9200人となります。

ただし、この収容人数については、避難者1人あたり3㎡を割り当てた場合であり、新型コロナウイルス感染症を考慮すると、1人あたり7㎡が必要となりますので、収容人数は約4000人となります。

なお、災害規模によっては、校舎内のスペースも活用すると思われ、収容人数については、増加させることも可能であると考えています。

問 新型コロナウイルスが蔓延している今の状況で、災害が発生し、市民が避難を強いられる状況になった場合、素早い避難と感染対策の両立が課題になってくると思いますが、その点の対策について伺います。

答 総務部長 現在、市では、保健所と連携して、市内の自宅療養者や濃厚接触者の情報を、日々、入手しています。

また、災害時に自宅療養者や濃厚接触者の方が避難する場合には、必ず市に連絡を取ってから避難することが徹底されています。

これらにより、避難の必要性を確認しつつ、避難が必要な場合には、特定の避難所を設けて対処する予定です。



観光行政について

問 本市への観光客の動向および緊急事態宣言等の影響について伺います。

答 産業振興部長 道の駅オライはすぬまの観光入込客数は令和3年4月が約2万4000人で、平成31年4月と比較すると約2割の減少となっており、蓮沼海浜公園では、令和3年4月が8000人で、平成31年4月と比較すると約4割の減少となっています。宿泊施設に関しては、宿泊者数が約7〜8割減少するなど大変厳しい状況が継続しています。

また、いちご狩りの来場者数については、コロナ対策のため入場制限を設けたり、いちご狩りを中止した園もあったため、組合全体として約5割の減少となりました。

しかし、直売所での販売や宅配利用での売上げが好調であったため、全体の売上げ減少は約2〜3割にとどまりました。

問 今年度の海水浴場の開設について伺います。

答 産業振興部長 昨年度の感染症対策等を踏まえ、市内5か所の開設に向けて、最大限努力してまいりましたが、感染リスクを排除できないことから、市民の安心安全な暮らしを守ることを第一優先に考え、昨年度に引き続き、不開設と決定しました。